



Title	2021年度 意匠学会賞選考結果報告
Author(s)	大森, 正夫
Citation	デザイン理論. 2022, 80, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/89268
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2021 年度 意匠学会賞 選考結果報告

学会賞選考委員会
委員長 大森正夫

受賞者

山形政昭氏

受賞業績

ウィリアム・メレル・ヴォーリズに関する一連の研究

授賞理由

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）は、ミッション建築を中心に活躍した建築家として知られるが、家具、楽器、建材、そしてメンソレータムの販売事業など、キリスト教伝道者でもある活動は多岐にわたり、近代の建築意匠にとどまらない影響を与えた人物である。

山形政昭氏は1970年代よりヴォーリズの偉業に着目し、全国に所在するヴォーリズ建築の調査とともに近江八幡に眠る1000件を超える建築図面の調査、さらには関係者への聞き取りなども行い、ヴォーリズ自らが称した「様式応用の生ける参考書」としての建築作品における様式的分析成果を提示している。また、ヴォーリズ建築事務所の構成員についても調査を尽くし、主要スタッフの人となりや重要作品の建設経緯なども解明している。

山形氏の先駆的な研究成果は、著書『ヴォーリズの住宅——「伝道」されたアメリカンスタイル——』（住まいの図書館出版局1988年）と『ヴォーリズの建築——ミッションユートピアと都市の華——』（創元社1989年）にまとめられ、1993年に学位論文「ウィリアム・メレル・ヴォーリズの建築をめぐる研究」を東京大学に提出されている。

しかし、その後も緻密な研究を続けられ、ヴォーリズ研究の集大成となる『ヴォーリズ建築図面集』（創元社2017年）を監修し、主要作品55件の設計図の解説と作品紹介においてヴォーリズ作品が生まれてくる現場を詳説されている。さらに、『ウィリアム・メレル・ヴォーリズの建築：ミッション建築の精華』（創元社2018年）においては、作品を切り口にヴォーリズの特質をモザイク画のように描き出して余すところがない。

また、吉田与志也氏との共著で出版された近著『ウィリアム・メレル・ヴォーリズ：失意も恵み』（ミネルヴァ書房2021年）では、英語教師として来日してからのヴォーリズの生涯をたどりながら、ヒューマニティーと創造力あふれる活動をさまざまな側面から丹念

に紐解き，時代背景とともに協働者の実像などを交え，建築活動の特色と事業の広がりを描出されている。

学会賞選考委員会では，ヴォーリズ建築の学術的評価を高め，建築作品の再評価や保存にも大きく貢献された山形政昭氏の一連の研究活動が，意匠学会の発展にも寄与するところが大きく，令和３年度の意匠学会賞に相応しい業績であると判断した。